

会歌短見広

母の日にケーキ作りてくれし孫その優しさを亡夫に告げたり	高田 治子
子犬つれ土手走りゆく小学生夜の放送と夕焼けを背に	佐々木登美子
乳牛の親子の張り絵作りつつ牛飼したる若き日思ふ	山本まつゑ
鷹ノ子の温泉で別れたあの笑顔亡き母恋し夕焼の空	橋本 加代
落着かぬ夕べに抱き合ひ寄り添ひし五匹の猫に心安らぐ	蛭谷 寿子
花薫るオリーブの島うかべつつ手のべそうめんたつぶり茹でる	須藤ヒサエ
遺影の間襖張り替え聖五月夫の十七回忌を迎ふ	武田 幸子
一周忌花をたむけてしのびつつ桜と共に兄は浄土へ	兵田トミ子
ほととぎす二声啼きて目覚むれば十六夜の月は峰にかかれる	渡辺キヨ子
黒板に書きたる行事一ツつ終えては夢を追いかけて行くも	伊手リツエ
二人の娘次々逝きて息のやさし「長生きしてよ二人の分も」	松崎 静香
立ち上り又立ちあがりて一才児調子がとれたか四五歩あゆみぬ	二宮 安恵

会柳川くほき

引き返す勇気が生きる登山道	青木 吉照
分岐点誰かばやいた跡がある	若宮 賢敬
だんだんとぼやきが増えてくる化粧	渡辺 光男
横槍のぼやき妥協を遅らせる	大野モモエ
囲碁打ってたじたじなのに攻めたてる	武田 浅美
輪の中で無口たじたじさせられる	畠山 千歳
草食系の彼氏たじたじ押され気味	清家 厚美
たじたじの目に青空は映らない	大沢和希子
勉強いやゴルフ目指してまっしぐら	水野 貞子
人生はすべて勉強鍛えられ	那須 栄山
手内職で勉強させてくれた恩	兵頭 紀子
携帯デビュー勉強して飽きず	宮脇マサエ
アジサイがモデルみたい服を替え	松本 実
生きざまのモデル雑草から学ぶ	栗木 一郎
紫陽花のモデルに添わすかたつむり	都 瞳
金次郎がモデルどこでも本を読む	宇都宮 孝

Christopher's Story No.34

「Obon and America」

8月はお盆の時期ですね。日本ではこの時期に全国各地で祖先の霊を祀って盆踊りが行われますが、アメリカはキリスト教徒が多いので、お盆のような行事はありません。

又、日本ではお盆に併せてお墓参りをする人も多いですね。埋葬のやり方も日本とアメリカでは違いがあり、日本では火葬が主流ですがアメリカでは土葬が主流です。なぜならアメリカでは火葬されて肉体が無くなってしまうと天国に行くことができないという迷信を信じている人が多いからです。しかし、土葬するには広い

土地が必要で、以前は問題がなかったのですが、都市化が進むにつれて土葬できる場所が少なくなってきていることと、費用が火葬よりもかかることから、今は火葬を行う家庭が増えてきています。今後アメリカの人口が増えたら土葬は益々難しくなります。キリスト教徒の人達は火葬には反対していますが、私は火葬の方がいいと思います。

日本では家族が亡くなるとその後一年間を喪中とし、祭りや祝い事を控える事がありますが、アメリカにはそのような風習はありません。

このように、日本とアメリカでは亡くなった人への弔い方に違いがありますが、カリフォルニア州などの日系人の方の多い地域では、日本の伝統文化が今も引き継がれ、盆踊りなどが開催されているところもあります。

今年も鬼北町各地区の盆踊りに参加してみようと思います。皆さんもご家族で盆踊りを楽しんでください。